校内研修計画

甲州市立祝小学校

１　学校課題

祝地区は、自然豊かで葡萄栽培、ワイン作りを中心とした地域である。学校と地域との結びつきが強く、学校教育に地域の方は理解を示し、とても協力的である。温かく優しい地域の方に見守られながら、児童は明るく元気に生活している。

　ここ数年、本校の全国学力学習状況調査では、「自分の考えを書いたり、説明したり、発表したりすること」「自分の解き方や考えが相手に伝わるように話したり書いたりすること」「文章を的確に押さえ、書いたり伝えたりすること」「家庭での学習時間の確保と生活リズムを整えること」が、課題として挙げられている。また、学力検査結果から課題を把握し、課題解決のために取り組みを行ったが、「人の話をしっかり聞くこと」「話し合い、互いに考えを深めていくこと」「文章を正確に読み取り立式すること」「式の意味を理解すること」が、課題として挙げられている。

　GIGAスクール構想によりICT端末が一人一台配付され、今年度で3年目を迎える。昨年度までに授業の中や家庭で活用し、利活用が日常化してきた。利用頻度は増えてきているが、どのような場面で活用するか等の有効な活用方法について検討していく必要がある。児童は、ICT端末を学習ツールの一つとして毎日活用することができているが、ドリルの取り組み方やタイピング速度に個人差が見られるようになった。

２　研究主題

『　「主体的・対話的で深い学び」を実現する児童の育成　』

－ICTの活用を通してー

３　主題設定の理由

新学習指導要領では、変化の激しい社会において自ら課題を見つけて、考え、判断して行動できる力（知）、思いやりや感動する心など豊かな人間性（徳）、たくましく生きるための健康や体力（体）を身に付けることが挙げられている。そのため、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童の主体的・対話的で 深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと、デジタルとリアルな体験を組み合わせて、子供たちが、自ら選択し、決定し、行動することを大切にした「子供主体の学び」つくりに取り組むことが求められている。

令和５年度山梨県学校教育指導重点においては、児童生徒に身に付けさせたい資質・能力を各教科で明確にし、言語活動の充実を図り「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うこと、また、それぞれの教科の目標を実現するとともに、児童生徒の発達段階を考慮しながら、情報活用能力を育成することができるよう、1人1台端末等のICT環境を最大限に生かした授業の充実を図ることが記されている。

本校では、昨年度まで「言語能力の向上」を図るため研修を進め、「読む・書く・聞く・話す・話し合う等の言語能力向上」に重点を置き、授業づくり・授業実践を中心にして研究に取り組んだ。指導主事を招聘しての研究授業や一人一実践などを行い、言語能力の育成を図るための手立てについて研究することができた。ICT端末を効果的に活用しながら、どのように言語能力の向上を図っていくかについても実践を通して考えていくことができた。そこで、今年度は昨年度までの研究を継承しつつ、ICT端末を学習ツールの一つとして、子供の可能性を広げる「個別最適な学び」や「協働的な学び」が実現できるよう積極的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業つくり・授業改善を進める。

また、学習の基盤づくりとなる甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの取組とも連携しながら、授業改善、WEBQUの実施・分析、家庭学習の推進も進めていく。

４　研究の内容と方法

（１）授業研究

・一人一実践授業・・・ICTを効果的に活用した授業研究。

（２）各種調査結果の分析・課題把握・活用

・全国学力学習状況調査

・CRTテスト

・教育課程説明会の還流報告

（３）研修

・ICT端末活用についての学習会

（４）甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携

・教育講演会をうけた授業改善

・WEBQUの実施と分析・活用の充実

・家庭学習の推進

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究内容 | 担当者 | 日程（授業の時期） | | | ＴＣ  要請 |
| 今年度の研究の方向性について | 研究主任 | ４ | ５ |  |  |
| 今年度の研究主題・研究方法について | 研究主任 | １２ |  |  |
| 研究主題・研究方法の決定  ことわざ等の検定について・ブロック組織の決定 | 研究主任 | １９ |  |  |
| 甲州市「確かな学力」育成プロジェクト | 学力育成Ｐ | ５ | １２ |  |  |
| 甲州市Teacher’s Note　読み合わせ  塩山北小学校の授業動画の視聴 | 研究主任 | ２４ |  |  |
| 第１回WEBQUの分析 | ブロック長 | ６ | ７ |  |  |
| WEBQU分析と対策について情報共有 | 研究主任 | ２１ |  |  |
| 甲州市「確かな学力」育成プロジェクト | 学力育成Ｐ | ３０ |  |  |
| ICT端末活用についての学習会 | 研究主任 | ７ | ５ |  |  |
| 甲州市「確かな学力」育成プロジェクト | 学力育成Ｐ | ８ | ９ |  |  |
| 教育課程説明会の還流報告 | 各教科主任 | ２２ |  |  |
| 実践紹介　ブロック研究・個人研究 | 研究主任 | ９ | ６ |  |  |
| 全国学力学習状況調査結果分析と課題解決に向けた取組について | 教務主任 | １３ |  |  |
| 実践紹介　ブロック研究・個人研究 | 研究主任 | 10 | １８ |  |  |
| 甲州市「確かな学力」育成プロジェクト | 学力育成Ｐ | ２５ |  |  |
| 第２回WEBQUの分析 | ブロック長 | 11 | １ |  |  |
| 実践紹介　ブロック研究　個人研究 | 研究主任 | ８ |  |  |
| 実践紹介　ブロック研究　個人研究 | 研究主任 | １５ |  |  |
| 研究の成果と課題アンケートについて | 研究主任 | 12 | ６ |  |  |
| 甲州市「確かな学力」育成プロジェクト | 学力育成Ｐ | １ | １７ |  |  |
| 研究のまとめ | 研究主任 | ２ | ７ |  |  |
| 研究紀要作成について  CRTの結果分析・課題把握・対策 | 研究主任 | ２１ |  |  |
| 研究紀要の作成 | 研究主任 | ２８ |  |  |

５　年間研修計画

（研究主任　広瀬　沙希）